

市民のみなさまへ

この冊子は、津波で想定される浸水区域、大雨などによる洪水や土砂災害の危険区域、また、それら災害時の避難に関する情報を総合的にまとめたものです。いざというときに備え、日ごろから家族で話し合い、地域の防災訓練に参加し、被害を最小限に食い止めるための知識と行動力を身につけましょう。

防災の心得 3か条



家族で話し合う

①

日ごろから、地震・津波・洪水・土砂災害が発生した場合に備え、それぞれの避難所や避難経路を家族と話し合う。



情報確認は、安全な場所に避難してから

②

テレビやラジオの情報を待っていると逃げ遅れることがあるので、避難場所（高台）等の安全な場所に避難してから確認する。



避難の際には、非常持ち出し袋も忘れずに

③

避難後すぐに、行政等から食料や生活用品が届くとは限らないので、3日間は自力で生活できるよう、非常持ち出し袋も忘れずにもっていく。



わが家の防災マップ

わが家の防災マップをつくろう！

家の付近を実際に歩いてみて、危険な場所や避難場所・避難所と自宅からの避難ルートを確認します。通行できない事態に備えて、避難ルートは複数決めておきましょう。

それらをイラストなどで簡単にあらわした「わが家の防災マップ」を作成しましょう。

<記載しておきたいこと>

- 危険になりそうな場所
- 避難ルート
- 避難場所、避難所（親戚宅や知人宅などを含む）
- 家族の集合場所

例

